



## 2021年7月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年9月14日

上場会社名 株式会社 アルデプロ  
 コード番号 8925 URL <https://www.ardepro.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 椎塚 裕一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員企画本部長 (氏名) 荻坂 昌次郎

TEL 03-5367-2001

定時株主総会開催予定日 2021年10月28日

配当支払開始予定日

2021年10月29日

有価証券報告書提出予定日 2021年10月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年7月期の連結業績(2020年8月1日～2021年7月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期	18,286	14.5	2,960	8.8	2,391	1.6	2,231	6.2
2020年7月期	21,399	34.1	3,245		2,352		2,379	

(注) 包括利益 2021年7月期 2,231百万円 ( 4.0%) 2020年7月期 2,324百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年7月期	6.81		42.9	18.4	16.2
2020年7月期	7.06		68.5	13.8	15.2

(参考) 持分法投資損益 2021年7月期 105百万円 2020年7月期 669百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年7月期	12,635	5,728	45.3	18.04
2020年7月期	13,327	4,665	35.0	13.83

(参考) 自己資本 2021年7月期 5,728百万円 2020年7月期 4,665百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年7月期	2,084	735	1,554	1,509
2020年7月期	7,561	55	7,783	1,715

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年7月期		0.00		0.50	0.50	168	7.1	4.9
2021年7月期		0.00		1.50	1.50	476	22.0	9.4
2022年7月期(予想)		0.00		1.50	1.50		19.8	

2022年7月期(予想)配当性向は個別の予想1株当たり当期純利益をもとに計算しております。

### 3. 2022年7月期の連結業績予想(2021年8月1日～2022年7月31日)

2021年7月期中に2社の連結子会社が清算終了し、連結子会社が存在しなくなったことから、2022年7月期から個別業績予想のみの記載(2ページ2参照)となります。このため、2022年7月期の連結業績予想は記載いたしません。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年7月期	337,234,159 株	2020年7月期	337,234,159 株
期末自己株式数	2021年7月期	19,628,322 株	2020年7月期	16,772 株
期中平均株式数	2021年7月期	327,921,979 株	2020年7月期	337,218,060 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年7月期の個別業績(2020年8月1日～2021年7月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期	18,286	14.8	2,666	21.0	2,205	30.6	1,031	67.3
2020年7月期	21,464	385.9	3,376		3,178		3,150	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期	3.15	
2020年7月期	9.34	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年7月期	12,640		5,733		45.4		18.05	
2020年7月期	14,532		5,870		40.4		17.41	

(参考) 自己資本 2021年7月期 5,733百万円 2020年7月期 5,870百万円

2. 2022年7月期の個別業績予想(2021年8月1日～2022年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	8,000	13.6	1,000	54.4	800	60.0	600	62.8	円 銭
通期	20,180	10.4	3,000	12.5	2,600	17.9	2,320	125.0	7.30

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、依然として厳しい様態が続いております。たび重なる緊急事態宣言の発出に伴いサービス消費を中心に個人消費が制限され、それに伴い企業をはじめとする経済活動が停滞する厳しい状況となっております。先行きについては、各種財政政策や金融政策の効果、ワクチン接種の促進などにより改善の動きが期待されますが、下振れリスクの高まりも懸念され、しばらくは不透明な状況が続くものと予想されます。

こうした状況下、当社グループは東京都心部（千代田区、中央区、港区、渋谷区等）や関西地区を中心に権利調整案件（再開発アジャストメント事業）や収益用不動産などの販売用不動産の売却活動を行ってまいりました。そのほか、全国に所在する収益レジデンスを売却してまいりました。売上高につきましては、ほぼ期首計画どおりの売上高となりました。一方、当社の債権の回収可能性について、相手先が受けている今般のコロナ禍の影響等も含めて、慎重に検討した結果、2021年7月期連結決算において、貸倒引当金繰入額1億68百万円を営業外費用に計上いたしました。

以上から、連結売上高は182億86百万円（前期比14.5%減）、営業利益は29億60百万円（同8.8%減）、経常利益は23億91百万円（同1.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は22億31百万円（同6.2%減）となりました。なお、売上高は前連結会計年度から減少したものの、利益率のよい権利調整案件の販売用不動産の売却があったことから売上総利益率は改善しております。

当連結会計年度における各事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

#### ①不動産再活事業

上記のとおり、東京都心部東京都心部（千代田区、中央区、港区、渋谷区等）や関西地区に所在する販売用不動産、全国各地に所在する収益レジデンス等を売却いたしました。当連結会計年度においては利益率の高い権利調整案件の販売用不動産の売却があり、売上総利益率が前期に比べ改善いたしました。

以上から、不動産再活事業の売上高は181億21百万円（前期比14.1%減）、営業利益は35億51百万円（同1.9%増）となりました。

#### ②不動産賃貸収益等事業

不動産賃貸収益等事業は、当社が保有する不動産物件に係る受取賃料収入や収入手数料等で構成されております。販売用不動産の売却により受取賃料が減少し、不動産賃貸収益等事業の売上高は1億64百万円（前期比46.5%減）、営業利益は1億45百万円（同49.2%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は100億70百万円（前連結会計年度末は117億36百万円）となりました。主な内訳としては、現金及び預金が16億19百万円（同17億35百万円）、販売用不動産が79億68百万円（同90億91百万円）などがあります。

#### (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は25億64百万円（同15億91百万円）となりました。主な内訳としては、関係会社出資金が9億12百万円（前連結会計年度末は10億18百万円）、長期貸付金が12億66百万円（同1億円）などがあります。

#### (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は49億83百万円（同84億17百万円）となりました。主な内訳としては、短期借入金金が23億14百万円（同15億円）、1年内返済予定の長期借入金金が77百万円（同28億50百万円）、預り金が22億円（同33億55百万円）などがあります。

#### (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は19億23百万円（同2億44百万円）となりました。主な内訳としては、長期借入金金が19億3百万円（同2億26百万円）などがあります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は57億28百万円（同46億65百万円）となりました。主な内訳としては、資本金が24億28百万円（同24億28百万円）、資本剰余金が2億94百万円（同2億94百万円）、利益剰余金が40億8百万円（同19億45百万円）、自己株式が△10億2百万円（同△2百万円）などがあります。以上の結果、自己資本比率は45.3%となり

ました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは20億84百万円の増加(前連結会計年度は75億61百万円の増加)となりました。これは、主にたな卸資産の増減額11億22百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは7億35百万円の減少(前連結会計年度は55百万円の増加)となりました。これは主に、貸付による支出11億50百万円、貸付金の回収による収入5億円などによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは15億54百万円の減少(前連結会計年度は77億83百万円の減少)となりました。これは主に短期借入金の純減額7億66百万円、長期借入金の返済による支出52億38百万円、長期借入による収入40億84百万円などによるものであります。

以上から、当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は15億9百万円(前連結会計年度末は17億15百万円)となりました。

#### (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年7月期	2018年7月期	2019年7月期	2020年7月期	2021年7月期
自己資本比率	12.9%	17.4%	11.0%	35.0%	45.3%
時価ベースの自己資本比率	122.2%	45.7%	55.2%	129.1%	186.0%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	146.2%	60.5%	206.0%
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	14.5	57.0	13.4

自己資本比率：自己資本÷総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額÷総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債÷営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー÷利払い

(注1) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式控除後)により計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を利用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を利用しております。

(注3) 2017年7月期および2018年7月期の営業キャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率およびインタレスト・カバレッジ・レシオは算出しておりません。

### (4) 今後の見通し

今後の見通しについて、当社においては基本的には新型コロナウイルスの感染症による影響は軽微であり限定的であると考えているものの、我が国において中長期的に新型コロナウイルスの感染症が拡大した場合、営業活動の自粛や外出の自粛などにより経済活動の悪化や消費意欲の低迷が懸念されます。不動産業界においても、金融資本市場の変動や金融機関の融資姿勢の変化等が予想されます。

こうしたことから、2022年7月期の業績予想は、現時点である程度の仕入および売却の目途が立っている販売用不動産の積み上げにより保守的に策定しております。

なお、2021年7月期中に連結子会社2社が清算終了したことにより連結子会社が存在しなくなったことから、2022年7月期業績は個別業績となります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当連結会計年度 (2021年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,735,395	1,619,173
販売用不動産	9,091,243	7,968,969
短期貸付金	844,281	328,000
その他	263,751	154,033
貸倒引当金	△198,607	-
流動資産合計	11,736,064	10,070,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,278	11,278
減価償却累計額	△6,803	△7,671
建物及び構築物(純額)	4,475	3,607
工具、器具及び備品	4,573	4,573
減価償却累計額	△3,331	△3,725
工具、器具及び備品(純額)	1,241	848
一括償却資産	-	998
有形固定資産合計	5,717	5,454
無形固定資産		
その他	516	206
無形固定資産合計	516	206
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,000
関係会社出資金	1,018,204	912,426
長期貸付金	100,000	1,266,281
繰延税金資産	407,777	694,112
その他	48,928	43,228
貸倒引当金	-	△366,718
投資その他の資産合計	1,584,910	2,559,330
固定資産合計	1,591,144	2,564,991
資産合計	13,327,209	12,635,168

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当連結会計年度 (2021年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	1,500,000	2,314,000
1年内返済予定の長期借入金	2,850,955	77,172
未払金	34,788	29,257
未払費用	5,742	20,413
預り金	3,355,484	2,200,417
未払法人税等	467,713	270,787
未払消費税等	133,565	-
賞与引当金	4,126	-
その他	65,116	71,234
流動負債合計	8,417,492	4,983,282
固定負債		
長期借入金	226,781	1,903,234
退職給付に係る負債	17,874	20,477
固定負債合計	244,655	1,923,711
負債合計	8,662,147	6,906,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,428,102	2,428,102
資本剰余金	294,072	294,072
利益剰余金	1,945,268	4,008,573
自己株式	△2,381	△1,002,574
株主資本合計	4,665,062	5,728,174
純資産合計	4,665,062	5,728,174
負債純資産合計	13,327,209	12,635,168

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
売上高	21,399,737	18,286,889
売上原価	17,426,282	14,315,868
売上総利益	3,973,454	3,971,020
販売費及び一般管理費	728,244	1,010,076
営業利益又は営業損失(△)	3,245,210	2,960,943
営業外収益		
受取利息	3,553	15,977
未払配当金除斥益	5,032	2,275
暗号資産売却益	-	17,797
その他	66,997	5,904
営業外収益合計	75,582	41,955
営業外費用		
支払利息	131,010	142,547
社債利息	15,839	-
支払手数料	81,359	104,653
消費税相殺差損	69,765	90,394
持分法による投資損失	669,889	105,778
貸倒引当金繰入額	-	168,110
その他	388	337
営業外費用合計	968,252	611,822
経常利益又は経常損失(△)	2,352,540	2,391,077
特別利益		
新株予約権戻入益	2,975	-
特別利益合計	2,975	-
特別損失		
和解金	-	2,000
特別損失合計	-	2,000
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	2,355,515	2,389,077
法人税、住民税及び事業税	428,400	443,498
法人税等調整額	△397,277	△286,335
法人税等合計	31,122	157,163
当期純利益又は当期純損失(△)	2,324,393	2,231,914
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△55,352	-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	2,379,745	2,231,914

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	2,324,393	2,231,914
包括利益	2,324,393	2,231,914
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,379,745	2,231,914
非支配株主に係る包括利益	△55,352	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,428,102	2,928,102	△3,068,506	△2,318	2,285,379
当期変動額					
欠損填補		△2,634,029	2,634,029		-
剰余金の配当					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			2,379,745		2,379,745
自己株式の取得				△63	△63
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△2,634,029	5,013,774	△63	2,379,682
当期末残高	2,428,102	294,072	1,945,268	△2,381	4,665,062

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	1,517,363	3,802,743
当期変動額		
欠損填補		-
剰余金の配当		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		2,379,745
自己株式の取得		△63
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,517,363	△1,517,363
当期変動額合計	△1,517,363	862,318
当期末残高	-	4,665,062

当連結会計年度(自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,428,102	294,072	1,945,268	△2,381	4,665,062
当期変動額					
欠損填補					
剰余金の配当			△168,608		△168,608
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			2,231,914		2,231,914
自己株式の取得				△1,000,193	△1,000,193
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	2,063,305	△1,000,193	1,063,112
当期末残高	2,428,102	294,072	4,008,573	△1,002,574	5,728,174

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	-	4,665,062
当期変動額		
欠損填補		-
剰余金の配当		△168,608
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		2,231,914
自己株式の取得		△1,000,193
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-
当期変動額合計	-	1,063,112
当期末残高	-	5,728,174

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	2,355,515	2,389,077
減価償却費	1,726	2,070
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	168,110
賞与引当金の増減額(△は減少)	△752	△4,126
持分法による投資損益(△は益)	669,889	105,778
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△538	2,603
受取利息及び受取配当金	△3,553	△16,222
支払利息	146,850	142,547
支払手数料	80,669	104,653
新株予約権戻入益	△2,975	-
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,813,551	1,122,274
前渡金の増減額(△は増加)	△120,000	43,500
その他の流動資産の増減額(△は増加)	33,008	91,945
未払消費税等の増減額(△は減少)	124,935	△146,571
前受金の増減額(△は減少)	△84,250	1,500
預り金の増減額(△は減少)	△3,253,299	△1,155,066
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△91,712	14,304
その他	23,302	△14,143
小計	7,692,369	2,852,236
利息及び配当金の受取額	3,553	16,222
利息の支払額	△132,765	△155,631
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,772	△628,556
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,561,384	2,084,270
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△90,000	△130,000
定期預金の払戻による収入	700,404	40,000
有形固定資産の取得による支出	-	△1,497
子会社株式売却による収入	319,643	-
貸付金の回収による収入	393,000	500,000
貸付けによる支出	△1,266,703	△1,150,000
その他	△1,000	5,700
投資活動によるキャッシュ・フロー	55,344	△735,797

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,330,454	766,325
長期借入れによる収入	4,406,285	4,084,021
長期借入金の返済による支出	△5,785,042	△5,238,330
配当金の支払額	△188	△166,517
社債の償還による支出	△76,994	-
新株予約権の発行による収入	2,975	-
自己株式の取得による支出	△63	△1,000,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,783,483	△1,554,695
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△166,755	△206,222
現金及び現金同等物の期首残高	2,086,880	1,715,395
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△204,730	-
現金及び現金同等物の期末残高	1,715,395	1,509,173

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、築年数の経過した中古不動産を仕入れ、リフォームなどのバリューアップを施して販売する「不動産再活事業」を主な事業とし、不動産再活事業に付随する不動産賃貸等を「不動産賃貸収益等事業」として展開しております。

したがって、当社では、「不動産再活事業」と「不動産賃貸収益等事業」を報告セグメントとしております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。なお、セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場価格を勘案して一般取引条件と同様に決定しております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	不動産再活事業	不動産賃貸収益等 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	21,091,501	308,236	21,399,737	—	21,399,737
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,091,501	308,236	21,399,737	—	21,399,737
セグメント利益	3,486,628	285,882	3,772,510	△527,300	3,245,210
セグメント資産	9,211,243	2,272,074	11,483,318	1,843,891	13,327,209
その他の項目					
減価償却費	—	—	—	1,726	1,726
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	—	—	—	—	—

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△527,300千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△527,300千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額1,843,891千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
  - (3) 減価償却費の調整額1,726千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当連結会計年度(自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	不動産再活事業	不動産賃貸収益等 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	18,121,915	164,973	18,286,889	—	18,286,889
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,121,915	164,973	18,286,889	—	18,286,889
セグメント利益	3,551,375	145,130	3,696,505	△735,561	2,960,943
セグメント資産	7,471,267	514,201	7,985,469	4,817,809	12,803,278
その他の項目					
減価償却費	—	—	—	2,070	2,070
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	—	—	—	1,497	1,497

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△735,561千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△735,561千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額4,817,809千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
  - (3) 減価償却費の調整額2,070千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,497千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
1株当たり純資産額	13円83銭	18円4銭
1株当たり当期純利益	7円6銭	6円81銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	—	—

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当連結会計年度 (2021年7月31日)
純資産の部の合計額(千円)	4,665,062	5,728,174
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	4,665,062	5,728,174
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	337,217,387	317,605,837

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	2,379,745	2,231,914
普通株式に係る当期純利益(千円)	2,379,745	2,231,914
普通株式の期中平均株式数(株)	337,218,060	327,921,979
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。